



報恩講法要では須弥壇いっぱいに見事なお花やお供物が供えられた。安里さんは結衆として出勤された(右側)

沖繩別院で報恩講法要

親鸞聖人のご遺徳を偲んで集う

う ち な ー

浄土真宗本願寺派
発行 本願寺沖縄別院 (浦添本願寺)
発行人 中 岡 順 忍
〒901-2132
沖縄県浦添市伊祖5-10-1
電 話 (098) 877-3276
ファックス (098) 877-4242
mail ameku2182@yahoo.co.jp



漢見師の法話に聞き入る
ご参拝の皆さん

1月26日(日)午前10時、沖縄別院本堂を会場に「宗祖親鸞聖人報恩講法要」を修行しました。
報恩講は、浄土真宗の宗祖(ご開山、開かれた方)親鸞聖人のご命日である1月16日をご縁として、そのご苦勞を通じて、阿彌陀如来のご本願によるお救いをあらためて心に深く味わわせていただく法要です。
本願寺第3代宗主の覚如上人が、親鸞聖人三十三回忌のご法要にあたってそのご遺徳を讃仰するための『報恩講私記』をご作成になりました。それ以来、聖人のご命日の

なごやかに齋をいただく
法要後はご参拝の皆さんとお齋(お弁当)をいただき、宗祖のご遺徳を偲ばせていただきました。

前日に開催された第2回沖縄特区実践運動推進研修会に続いて、漢見覚恵師(本願寺派布教使・滋賀教区彦根組純正寺住職)をご講師にお招きし、ご法話をいただきました。法話後、一同で仏教讃歌「報恩講の歌」を斉唱し、法要は終了しました。

法要は「報恩講」として大切にお勤めされてきました。
安里さん結衆として出勤
今回の法要では特区内寺院の安里正輝さん(大典寺衆徒)に結衆として出勤いただき、奉讃大師作法第一種をお勤めました。お勤めの後、中岡輪番による『御俗姓』の拝読、並びに挨拶がありました。
胸をつつ漢見師のご法話

4月花まつり ● お釈迦さまのお誕生日
5月降誕会 ● 親鸞聖人のお誕生日



↑ 沖縄別院本堂の内陣と、その前におかれた花御堂

↓ 花御堂の誕生仏に、甘露の雨を意味する甘茶をかけて祝う



それぞれのお誕生日には、お徳を讃え仏さまのお話を聞かせていただく場として全国の寺院でお勤めがされます。

ある皆さんも是非お参り
をいただき、ご先祖のことやご自身の生き方を見つめなおす機縁としましょう。どうぞお気軽にお越しください。
← 降誕会のあと、皆でお齋をいただく



ハイサイ!!
沖縄へようこそ
2月10日(月)、北豊教区(福岡県京仲組)の75名が沖縄別院に参拝されました。満堂となった本堂にはお念仏の声があふれ、皆さんは沖縄の歴史・別院の沿革など学び多き一日となったことを喜んでおられました。



多くのお参りがあり、法要中に本堂に入りきれない人も。法要後、順にお参りし、鐘を撞いていただいた



小さな子どもから大人まで楽しんだ「もちつき大会」。自衛隊の方々の力強いもちつきは必見

沖繩別院 除夜会
除夜の鐘に長蛇のお参り
鐘をつき、ホットドリンクであたたまる

昨年末の12月31日(火)、沖縄別院本堂にて午後11時30分から除夜会を修行し、約600名の方にご参拝いただきました。除夜会の法要後、中岡順忍輪番が新年を迎えるにあたり一年を振り返って挨拶し、除夜の鐘を撞き始めました。つづいて、参拝の皆さんが思い思いに一年を振り返って鐘を撞き、午前2時頃には終了となりました。

境内では、例年と同様に門徒の皆さんにお手伝いいただき、温かい飲み物や参拝記念のカレンダー、お子さんにはお菓子の配布をしていただきました。

2024 年末の行事

久米島布教所

賑やかに恒例もちつき大会
除夜会、そして除夜の鐘

久米島布教所では12月29日(日)にもちつき大会をしました。搗き手には、一昨年と同様今回も航空自衛隊久米島分屯基地の皆さんにご協力いただきました。

搗いたお餅で鏡餅を作った。年末始と仏さまにお供えし、また、皆でおいしくいただきました。近隣の老人ホームにも鏡餅をお配りしました。

31日には約200名の参拝者があり、皆さんと共に去る一年を振り返り、新年に思いをはせながら除夜の鐘を撞きました。



納骨堂総追悼法要と 旧十六日ジュニルつとまる

一日を通して納骨堂に多くのご参拝



多くの方が参拝された(沖縄別院、中岡輪番のご法話)

旧暦の1月16日は十六日祭(あめのつひ)です。沖縄各地では親族が集まり、お墓やお仏壇にお参りをします。

今年の十六日祭は2月13日(木)でした。沖縄別院、天久礼拝所、久米島布教所にて納骨堂総追悼法要と十六日祭法要を併修しました。

沖縄別院では午前・午後の2座法要をし、法要後には中岡輪番が法話(仏さまのお話)をしました。納骨堂では一日を通して多くの方にご参拝いただきました。

2月頃の沖縄は雨がちて、近年の十六日祭も雨の日が多く、ゆつ

くりお墓参りできなかったとよく聞きます。以前は、朝から家族・親戚一同でお墓に参り、重箱料理等をお供えしてウサンデー(お供え物をいただくこと)し、その後お仏壇にお参りされることが多かったようですが、近頃は昼以降や、雨が止んでからのお墓参りが多くなってきました。

今年は久米島布教所でも午前中の参拝はなく、昼から夜にかけてのご参拝でした。十六日祭に限らず、墓前では手を合わせるのみにとどめ、ウサンデーは自宅で行うご家庭も増えてきました。

沖縄文化としてお墓参りの時刻を気にされる方もおられるかもしれませんが、浄土真宗においては、お墓・お仏壇へのお参りに時刻の決まりはありません。ご都合の良い時刻に、どうぞ皆さんでご参拝ください。



お焼香される参拝者の皆さん



法要の様子